

2024 年度 大学院（博士後期課程）入学試験問題

1/1

(科目名: 第 1 群 英語)

(文学研究科 全専攻共通)

2024 年 2 月 19 日 (月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

* 答えは全て解答用紙に記入すること。(I.とII.は日本語で、III.は英語で解答すること。)

I. 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。(※印の語には注釈があります。)

【引用部分は削除しています】

* bulimia 過食症

(*Making Connections: Health, Welfare, and Environment*, Bruce Allen and Makoto Shishido, Seibido, 2004, pp. 86-88. 文言は一部変更しています。)

問 1 下線部①を日本語に訳しなさい。

問 2 下線部②を日本語に訳しなさい。

問 3 下線部③を日本語に訳しなさい。

問 4 下線部④について、このような結果を引き起こす理由を、本文の内容に沿って述べなさい。

問 5 下線部⑤を日本語に訳しなさい。

II. 次の英文を読んで、100 字以内の日本語で要約しなさい。(句読点も一文字とします。)

【引用部分は削除しています】

(*Connection*, Milada Broukal, Shohakusha / Cengage Learning, 2014, p.46.)

III. What is the most important way the world will change over the next 100 years? Write your answer in English, using around 150 words.

2024 年度 大学院（博士後期課程） 入学試験解答用紙

1/2

(科目名：第 1 群 英語)

(文学研究科 全専攻共通)

2024 年 2 月 19 日 (月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

I.

問 1

.....

.....

.....

問 2

.....

.....

.....

問 3

.....

.....

問 4

.....

.....

.....

問 5

.....

.....

得点

二〇二四年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名: 第1群 日本語)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年2月19日(月)

次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(今井つづみ・秋田真美『言語の本質 ことばはどう生まれ、進化したか』による)

問一 波線部 a～e の読みを平仮名で書きなさい。

a	b	c	d	e
---	---	---	---	---

得点

二〇二四年度大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名: 第一群 日本語)

2024年2月19日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問一 二重傍線部ア、イ、ロのカタカナを漢字で書きなさい。

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ

問二 空欄 A を補うのに最も適当なものを選び記号で答えなさい。

- ① したがって ② むしろ ③ もしも ④ もちろん

問四 傍線部①「記号接点」とはどのようなことですか。本文の内容に即して説明しなさい。

問五 傍線部②「〇〇の味もイチゴの味と考えてしまう」とありますが、それはなぜですか。その理由について、本文の内容に即して説明しなさい。

問六 傍線部③「記号から記号へのメリーゴーランド」とはどのようなことですか。本文の内容に即して説明しなさい。

問七 傍線部④「いつまで経っても」を本文と同様の意味で使った短文を作りなさい。

問八 傍線部⑤「身体に根差した(発地した)ケイケン」とはどのようなことですか。本文の内容に即して説明しなさい。

得点

2024 年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 教育学・臨床心理学専攻以外)

(科目名:第2群 ①フランス語)

2024 年 2 月 19 日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

I. 次の文章は、ある小説の一節である。この一節をすべて日本語に訳しなさい。

【引用部分は削除しています】

Michel Houellebecq, *La Possibilité d'une île*, Paris, Fayard, 2005.

註: « domotique »は、「ホームオートメーション化された」の意。

II. 次の文章を読んで、下の設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

Simone Weil, *L'Enracinement*, Paris, Éditions Gallimard, 1949.

問 1. 下線部①を日本語に訳しなさい。

問 2. 下線部② « la réalité d'un tel domaine »について、日本語で説明しなさい。

得点

二〇二四年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 真宗学専攻)

(科目名:第2群 ② 仏教漢文(真宗学))

2024年2月19日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

※罫線縦書きの解答题用紙に問題番号を記して解答を記入してください。

一、次の(一)～(三)の漢文を書き下し、現代語に訳しなさい。

(一) 仏告阿難 其下輩者 十方世界諸天人 其有至心欲生彼国 仮使不能作諸功德 当来無上菩提之心 一向專意 乃至十念念無量寿仏 願生其国 若聞深法歡喜信樂 不生疑惑 乃至一念念於彼仏 以至誠心願生其国 此人臨終 夢見彼仏 亦得往生 功德智慧 次如中輩者也

(二) 又問曰 一切衆生皆有仏性 遠劫以来 應值多仏 何因至今 仍自輪廻生死 不出火宅 答曰 依大乘聖教 良由不得三種勝法 以排生死 是以不出火宅 何者為一 一謂聖道 二謂往生淨土 其聖道一種 今時難証 一由去大聖遙遠 二由理深解微 是故大集月藏經云 我末法時中 億億衆生起行修道 未有一人得者 當今末法 現是五濁惡世 唯有淨土一門 可通入路

(三) 唯可教益多門 凡説無由憑攬 遇因奉提致請 我今樂欲往生安樂 唯願如来 教我思惟 教我正受 然娑婆化主 因其請故 即廣開淨土之要門 安樂能人 願影別意之弘願 其要門者 即此觀經定散二門是也 定即息慮以凝心 散即廢惡以修善 廻斯二行求願往生也 言弘願者 如大經説

二、次の漢文を読み、以下の設問(一)～(二)に答えなさい。

凡衆廻向名義 謂以己所集一切功德 施与一切衆生 共向仏道 巧方便者 謂菩薩願 以己智惠 火燒一切衆生煩惱草木 若有一衆生不成仏 我不作仏 而彼衆生未盡成仏 菩薩已自成仏 譬如火燧欲燒一切草木 燒令使尽 草木未盡 火燧已尽 以後其身而身先 故名巧方便

設問(一) 当面の意に沿つて、全文を書き下しなさい。

設問(二) 傍線部について、親鸞における解釈を述べなさい。

得点

二〇二四年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 仏教学専攻)

(科目名:第2群 ② 仏教漢文(仏教学))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2024年2月19日(月)

【引用部分は削除しています】

(『長阿含經』)

〔註〕 隨宜_レ欲す_レがままに。 唯然_レかしこまりました。 慶_レ囑_レマカケ_レ。 國。

【引用部分は削除しています】

(『毘婆沙論』)

〔註〕 清_レ檀_レ士_レ。 優_レ婆_レ。 尊_レの_レ。 衰_レ耗_レ。 極_レの_レ。 衰_レえ_レる_レ。 こと。

【問一】 右の(1)の漢文を訓読(読みかたし文)しなさい。

【問二】 右の(2)の漢文を講解し、その内容を簡潔に述べなさい。

【問三】 右の(1)は釈尊が修行僧に対してなされた説法、(2)は世俗人に対してなされた説法です。同じく「戒」について述べられていますが、両者の説相の違いを簡潔に述べなさい。

得点

--

二〇二四年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名第2群 ④ 古典漢文(日本史学))

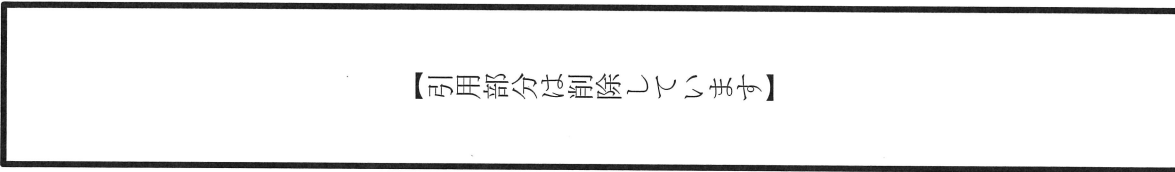
2024年2月19日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

外国語筆答試験 (日本史学専攻) (1/3)

次の(一)～(四)の史料問題のうち二題を選び、各設問に答えなさい。(選択した番号を明記すること)

(一) 次の史料を読んで設問に答えなさい。



【引用部分は削除しています】

(常陸國風土記)

(B) (天武元年)乙亥、下総国印旛郡大領外正六位上支部直牛養、常陸国那賀郡大領外正七位下宇治部全成、並授外従五位下。以進軍粮也。

(続日本紀)

問一 史料(A)の全文を読み下し文(漢字仮名交じり文)にしなさい。

問二 傍線部①の「難波長柄豊前大朝敷宇天皇之世」の政治情勢について、説明しなさい。

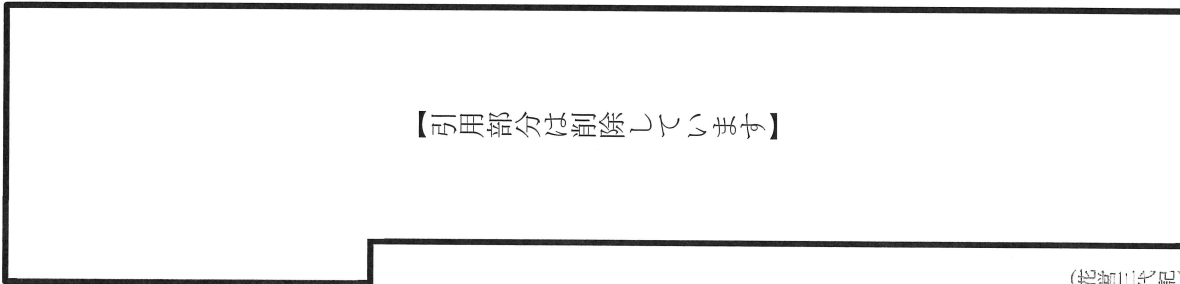
問三 傍線部②の「大乙上中臣子、大乙下中臣部瓦子」等、中臣部について、説明しなさい。

問四 傍線部③の国造と鹿島神郡の関係について、説明しなさい。

問五 傍線部④の「香(鹿)島天之大神」と春日大社との関係について、説明しなさい。

問六 史料(B)の内容は、どのような歴史的背景をもって行われた政策ですか。史料(A)の内容と関連付けて、説明しなさい。

(二) 次の史料を読んで設問に答えなさい。



【引用部分は削除しています】

(花營三代記)

問一 傍線部①の「天田文」の意味について、説明しなさい。

問二 傍線部②の「京洛」の意味について、説明しなさい。

問三 史料全文を読み下し文(漢字仮名交じり文)にしなさい。

問四 史料全文を現代語訳しなさい。

得点

二〇二四年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本史学))

2024年2月19日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

外国語筆答試験 (日本史学専攻) (2/3)

(三) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

定

一 羽黒山伏於往唐本山之麓場者、可受本山年行事之支配事

一 羽黒山伏金襴地結髪不可着用之、雖然於受聖護院御門跡補任状者、可為御外事

附、羽黒山伏自今以後檀那場不可称檀事

一 羽黒山伏大嶺客臺之時、從本山方不可受補任状、又本山之山伏羽黒山客臺之節、從羽黒方不可出免許状事

一 羽黒山伏羽黒山入峯之事、可為如前々、從本山方不可妨之事

一 檀方之儀、相互不可奪之、勿論可任願主之帰依事

① 右条々可相守此旨、仍為後証書記之、双方出圖者也

貞享元年七月四日

淡路 (黒印)

内記 (黒印)

伊予 (黒印)

右衛門

山城 (黒印)

豊後 (黒印)

加賀 (黒印)

御用付大坂三在之、不能加判

(聖護院文書)

※羽黒：出羽国羽黒山を中心とする山岳修験道場。本山：聖護院。麓場(麓)：修験者(山伏)の有する繩張り(檀那場)。大嶺：大和国吉野から紀伊国熊野に至る山岳修験道場。

問一 右の史料の二か条目から三か条目まで(「附」を含む)を読み下し文(漢字仮名交じり文)に改めなさい。

問二 右の史料の四か条目を現代語訳しなさい。

問三 右の史料の五か条目を転記して、訓点を施しなさい。

問四 傍線部①を読み下し、すべて平仮名で表記しなさい。

問五 近世における山伏の支配について、知るところを記しなさい。

得点

二〇二四年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本史学))

2024年2月19日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

外国語筆答試験(日本史学専攻)(3/3)

(四) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(祭政一致/御規權被相立度旨門脇神祇大社建言三付上申)

註 門脇大社:門脇重祿。当時、神祇大祐。

忠能:中山忠能。当時、神祇伯兼雲教長官。

浮屠:僧侶。

問一 傍線部①を、名詞・熟字の他は平仮名を用いて、読み下し文(漢字仮名交じり文)に改めなさい。

問二 傍線部②を現代語訳しなさい。

問三 傍線部③について、知るところを述べなさい。

問四 この文書の作成時期(一八七〇年)から大日本帝国憲法制定までの宗教政策の変遷について、知るところを述べなさい。

得点

二〇二四年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

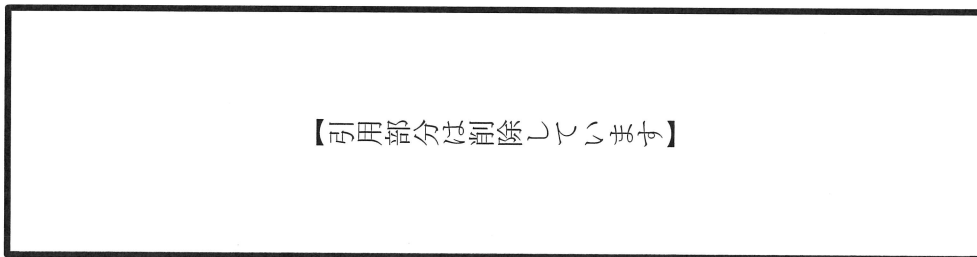
(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名 第2群 ④ 古典漢文(日本語日本文学))

2024年2月19日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



【引用部分は削除しています】

(『莊子』 雜篇)

注 ○子列子_レ列子先生。列子は中国古代の思想家。名は禦寇。くわしい事績は明らかでないが、右の逸話が複数の書に見える。○鄭子陽_レ鄭(中国春秋時代の一國)の宰相である子陽。○遺_レおく。○栗_レ穀物。○望_レうらむ。○拊心_レむねをたたく。○作難_レ反乱を起こす。

問一 波線部 a、e の読みを、送り仮名のある場合は送り仮名も含めて、ひらがなで記しなさい。

問二 傍線部①「君無乃為不好士乎」を書き下し、解釈を記しなさい。

問三 傍線部②「令官遺之粟」を書き下しなさい。

問四 傍線部③「命」の本文における意味として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 命令 2 生命 3 運命 4 命名

問五 傍線部④「至其罪我也、又且以人之言」とは、誰が何をどのような場合にどうするということですか。また、そこから列子のどのような考えを読み取ることができますか。説明しなさい。

問六 成句「胡蝶の夢」は、『莊子』の「齊物論」に見える故事から派生したものです。その故事についてなるべく具体的に述べたうえで、この成句の意味を記しなさい。

2024年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 臨床心理学専攻)

(科目名: 専門科目)

2024年2月19日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

以下のすべての問題に解答しなさい。ただし、設問ごとに別の解答用紙に解答しなさい。

設問 I

医療領域の心理臨床に関して、医師から以下のような患者の面接を依頼されました。

ここ数カ月急に眠りが浅くなり、夜中によく目が覚める。食欲も低下し仕事のやる気も起こらない。急に悲しくなり涙が出てくることもある。夜寝ようとする、誰かに話しかけられているような声が聞こえ、自分が誰かに操られているような感じになることがある。朝起きると誰かがコーヒーを飲んだ形跡があるが、自分では記憶がない。これまでも自分に自信がなく、人と関わるのは苦手であり、何をやってもうまくいかないという感じがあった。

このような患者に対して、あなたはどのような見立てを行い、どのような面接方針で支援を行うか、について述べなさい。(1500字程度)

設問 II

博士論文作成までの過程では、近接領域の先行研究を概観する必要がある。しかし、臨床心理学領域では、近接領域の中でも推測統計を用いた「量的研究」による調査研究が行われておらず、統計的な先行研究が限定的である場合も少なくない。こうした近接領域の先行研究を概観する必要があるにもかかわらず、先行研究が限定的である場合、その研究領域の問題についての論述を、どのように示すことが適切か、下記の用語のすべてを用いて説明しなさい。ただし、「限定的な研究しか見られない研究領域は、」という主語から論述をはじめること。(1600字程度)

使用用語 【 研究デザイン、 調査の困難要因、 推測統計の矛盾、 研究知見の蓄積 】